

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
① 男女共同参画フォーラム開催事業	市が主催する男女共同参加フォーラム講演会の開催	講演会開催回数	回	1	1	1	1
② 男女共同参画啓発事業	市が主催及び共催する啓発講座の開催	啓発講座開催回数	回	12	11	12	13
③ 男女共同参画推進研修事業	市が主催する研修会の開催	研修会開催回数	回	0	0	1	0
④ 男女共同参画週間推進事業	関連本やパンフレット等の展示コーナーを市が設置	設置箇所数	箇所	4	4	4	4
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
			H25実績	H26実績	H27実績	
1 男女共同参画関連事業参加人数	細事業①、②、③の参加者総数	人	— 582	— 453	— 354	—
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題でもあり、少子高齢社会、人口減少社会においては、相手を思いやり、個々の能力を活かさねばならない。そのためにも社会状況の変化に応じて、全ての人が自分らしく生きられるための意識づくりを継続的に行う必要がある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
		受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	啓発講座、講演会は、社会情勢の変化や様々な情報的確な把握に努め、受講者のニーズに合った事業を実施し集客の向上を目指す。また、広報紙においても、次月号が期待される様な親近感のある内容で、「男女共同参画」が読者へ自然と浸透し、共感できるような記事づくりを行う。
昨年からの見直し・改善状況【32】	受講者数の増加及び意識改革を図るため、女性・男性・高齢者を対象に、各世代の抱える問題や社会状況に応じた内容の事業を取り入れた。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	啓発活動は、継続的、効果的に実施することが重要であり、年間計画に掲げたテーマに沿った活動を実施し、意識の啓発に努める。	評価責任者 松本留美子
------------------	---	----------------